

(参考様式4-1)

飯南町地区活性化計画 改善計画書

平成27年9月25日作成

都道府県	計画主体名	地区名	計画期間	実施期間
島根県	飯南町	飯南町	平成19年 ～平成22年 (第1次改善計画期間) 平成23年 ～平成26年	平成19年 ～平成21年 (第1次改善計画実施期間) 平成23年 ～平成26年
事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体	
・地域資源活用起業支援事業 ・農山漁村活性化施設整備附帯事業	平成19年度 イノシシ肉処理施設整備(90.72 m ²)、 卓上型真空包装機(1台)、デハイダー(1台) 平成19～20年度 商品開発、販路拡大		グランディア赤名峠	

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率 (%) B/A	備考
地域産物の販売額の増加	454.53	219.06	48.19	イノシシ肉及び加工品売上げ額

2 目標が達成されなかった要因

ぼたん鍋セットなどの生肉販売促進や加工品の新商品開発等に取り組んだが、イノシシ肉を安定的に供給できる仕組みが構築できておらず、需要はあるものの販売額が伸びなかったために目標を達成することができなかった。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度	平成30年度
事業の推進体制	関係機関や専門家の指導・協力のもと新商品の開発及び販売額増加のための仕組みづくりに努める。
具体的取組方策	加工品については、専門家の指導を受けながら新商品の開発に努めるとともに、イノシシ肉のあらゆる部位を有効に活用できるよう、検討を進める。地域内のイノシシ肉をグランディアへ提供するシステム構築を目指し生肉の販売にも力を入れ、今後競争相手が増えることも予想されるため、販路の確保及び拡大に努める。

4 改善計画に対する第三者の意見

本件は計画目標達成率 48.2%で実績値は目標値を下回っている。主な問題は原料であるイノシシの供給不足にあり、丁寧な販路開拓と上質な肉の提供など販売努力によりリピータを確保しているにも関わらず、注文に対し肉の確保が追いついていない状況にある。従って、今後、更なる販売額拡大を実現するためには、原料であるイノシシを安定確保できる仕組みの構築を着実に進めるとともに、現在確保しうる原料を用いて新たな付加価値の高い加工品を開発・販売する短期的方策も必要である。

原料であるイノシシの安定確保のためには、本事業体へのイノシシ持ち込み範囲である飯南町赤来エリア以外、例えば飯南町頓原や雲南市掛合からの持ち込み者を増加させていく必要がある。そのためにはこれらエリアでの狩猟者等に対し、買い取り相場や取引方法等を丁寧に周知するとともに、これらエリアの相談可能な狩猟者等に対し直接的に働きかけイノシシを持ち込んでもらう実績を積み重ね、信用をつくっていくことが必要であると考えられる。

現在確保しうる原料を用いて新たな付加価値の高い加工品を開発・販売については、現在のイノシシ肉として利用している以外の部位についての加工、商品化が重要であろう。なお、本事業体はこれまでも幾つかの加工品の製造販売から撤退した経緯を持つが、その理由は主に加工品開発・製造の安易な外注による製造コスト高にあり、これらの経験をふまえ専門家の意見も参考にしつつも自主開発・自主試算・自主試販を基本に丁寧な商品開発を進めて頂きたい。なお、加工品開発が成功すればイノシシの買い取り条件もさらによくなることから原料確保の容易性が相乗的に増すことも予想される。

現在、全国各地でイノシシの供給施設が整備されてきており、今後、ますますイノシシ肉販売元が増加することが予想され、今後、より一層、販売元には高品質の肉の安定供給が求められることが予想される。本事業体では旧赤来町エリア外での新規のイノシシ持ち込み者確保が急務であり、特に町行政については本事業体によるイノシシ買い取りについての丁寧な周知や働き掛け可能な狩猟者等の情報収集について支援が強く期待される。

島根県中山間地域研究センター 主席研究員 有田昭一郎

※達成率等算出根拠資料（参考様式4-1添付資料）を添付すること。